

# 古田高梨新 日大体制を 粉砕せよ!

日理五学部少争委員団に結集する学友諸君!  
として建少委を支持する学友諸君!

9月我々が試験を白い紙面に向、乙日々を黙々とすすつうちに、我々の前に熾烈なやらアが展開されようとしてゐる。すなわちそれは古田が我々の前にあの憎悪にみちみちた顔を現わしたのだ。古田と古田体制は定日の理學部を決定したように、古田は外頭から名称だけわつた。たが長八、そして法學部の悪名高い反動化を押し進めた高梨は理事長に就任するばかりが、あの9・30の大衆団交の時、無能を暴露した。高梨は、今回も古田体制の守護者としてこの理學部に就任し、理五学部に於て学部長として古田体制を貫徹しようとしてゐる。そしてこれからの新古田体制(すなわち習志野、津田君、法至に見られる右翼の暴力支配と一定の学生のカークルの活動)を認め、必死になつて支えんとしてゐるのは、まさに権力者側(他ならぬ)に、すなわち、アシアに於て第2次大戦にさ、て退却された日本帝国主義は、近年後の設備投資等からの立ち直しを開始し、グヤその帝国主義的矛盾を解決するため、アシア侵略を求め始めた。その規定制を有してゐる。しかしアメリカを中軸とする帝国主義にその外にウムの敗退、セル。ボシは危後、帝国主義は内部にまきおこる、学生。労働者の当いせによつて危後状態にある。その様の中、日帝は大学を支配するものとしてこのイデオロギ一を教育するものとしてこの、イデオロギ一を争する。わち近代帝国主義的再編強迫を迫らねばならないのだ。ア

▲ 文至者突入10名の学友にカンパを! 建少委救済

# 火 花

(火 花)  
日大星炎当  
理五当委  
建策学判  
当争毒  
後廣誌

1969.07.16

No.12

情 宣 局

# 赤ト謙次郎 新理學就任 を許すな

日大は長く、近代化の最先進地だ。学生には「中庸の精神を」となるものを強制し、体育部。応援団なる暴力装置をここの文脈を貫徹した帝国主義的な大学としてあった。しかし、1968。1969の赤トの日本労働運動快、学生運動史上残る様な当いは、その日大体制の本質を暴露し、帝国主義的模範大学は崩れさり、至口学闘争の先駆となったのである。この様な我々の斗争に恐怖した権力は、10・3佐ト発言に見られるような露骨な弾圧を行ない、5・6日強行授業再開、そしてこれにうち続く試験策動においても積極的に機動隊を遣り込み続けたのだ。そして生口にまき起こ、た斗争に対しては権力は、70年を乗り切るべく大学立法、出入口管理法等の一理の治安立法をかけた。日大の授業再開後にうち続く治安立法をかけた。とすべく策動もある。大学立法施行とその実体化を在衆の如く押し進める中、日大は古田一高梨体制を確立し、理五学部に於いては赤ト学部長一加ト執行部(建策)一市川学部長代行一櫻並学生一近江村内建策ワラス建策委員の様に下部に至るまで新古田体制を打ちたためたのだ。そこで法アウシゴシ体制に對し革命的10名の学友の死をかけた当い(ワカ)を我々は決して忘れぬ。この学友の当いを無にする事なく、我々のワラス討議を全面开花させ、新古田体制打倒、9月決闘勝利、安保決議少年勝利、11月佐入訪米阻止、大学治安立法粉砕、の長期スローカンの下、非妥協的

!!を続けようとはすいか!

建少委書記局